

脚下照顧



『掃除をすると儲かるのか?』と『スクイズ成功率』 と『雑草を抜く瞬間の快感!』の関係

お掃除ブームです。松居一代さんがTVで引っ張りだこで、風水の先生もいたところでトイレ掃除の効用を述べられています。そして『本当にトイレ掃除すると儲かるのか?』なんていう会話もよく聞くようになりました。実際どうなのでしょう? 掃除をすると儲かるのでしょうか? 自分なりのアングルから考えてみました。

プロのスポーツ選手は常に高いレベルで自分の技を磨いていると思います。にもかかわらず、ここ一番で失敗してしまうシーンは、ゴルフのパッティングでも野球のスクイズでもサッカーのPKでも、よくお目にかかることがあると思います。いったい何が原因でそうになってしまうのでしょうか?

自分はそこに『過剰な欲』があるからだと思います。別の言葉で表現するとしたら『エゴ』であり、『意識過剰な自我』といってもいいと思います。

素晴らしく磨かれた技があるにもかかわらず、それがあつためにうまくいかない。プロでさえうまくいかない、そんな扱いにくいものがそこに存在していると思います。

『このスクイズが成功したらサヨナラだ!』『このスクイズがうまくいけば勝ちだ!』と思えば思うほど願えば願うほど心が平常心を忘れ、体が日々の鍛錬を忘れ、失敗の袋小路の方に進んでいく。

本当に勝利したいのであれば、全神経を投手に、ボールに、いまここに集中して、自分を信頼して、無心で白球に食らいついていかなければならないにもかかわらず、次から次へと湧いてくるこの思い。『このスクイズが成功したらサヨナラだ!』『このスクイズがうまくいけば勝利だ!』『掃除をすると儲かるのか!』『何をすれば儲かるのか!』『俺は儲かるのか!』『成功するのか!』

他者の存在を忘れた『過剰なエゴ』はどんどんと自分を失敗の袋小路に導く。

イチローが試合後、ゆっくりと時間を使って丹念にグローブの汚れを取り、手入れをする。本当にグローブの汚れを取っているのでしょうか? もっと別のものを取っているような気がします。

今朝、現場に行く前に、みんなが寄ってたかってテクアの工場の前のボウボウに伸びきった雑草を引き抜いてくれました。雑草と同時に心の栓も抜けたのか、そこから笑顔が溢れていました。

『雑草抜き 笑う門には 福来る 急がばまわれ 歩道橋』。結論はこんなところにあるような気がします。
ご安全に! 羽原篤史

